

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第 55 回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日 時	令和 3 年 6 月 30 日 (水) 午前 10 時 00 分～午後 0 時 10 分	場 所	木津川市役所 第 2 北別館 2 階 会議室
出席者  (出席者…■ 欠席者…□)	委 員	<p>【学識経験者】</p> <p>■大庭 哲治委員 (副会長)                      ■井上 学委員 (オンライン参加)</p> <p>【市民代表】</p> <p>■大村 裕信委員                      ■占部 禎佑委員                      ■藤田 弘志委員</p> <p>■福本 桂子委員                      ■津田 浩司委員                      ■平田 克子委員</p> <p>■行衛 満委員                      ■中島 英一委員</p> <p>【事業者】</p> <p>■兒嶋 一裕委員                      ■杉浦 良知委員</p> <p>■大西 秀樹委員 ※代理：松石 康志 (奈良交通株式会社乗合事業部統括課長)</p> <p>■津田 秀夫委員                      ■足立 高広委員                      ■大江 正泰委員</p> <p>□梅田 幹夫委員                      □加藤 隆委員</p> <p>■今西 宏委員 ※代理：東 由章 (奈良交通労働組合副執行委員長)</p> <p>【行政機関】</p> <p>■曾川 高円委員</p> <p>■田中 茂行委員 ※代理：山下 佳穂里 (国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所計画課調査係長)</p> <p>■松田 克也委員                      ■安見 浩一委員                      ■中島 直樹委員</p> <p>■河井 規子会長 (冒頭あいさつのみ)                      □田中 達男委員</p> <p>■滋井 邦明委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】</p> <p>■片田 一真 ※代理：内藤 信二 (国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課企画第一係長)</p>	
事務局	鶴見政策監、井上事務局長、山口事務局次長、松下課長補佐兼係長、日比主任、楠見主任		
傍聴者	0 人		
議 題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況について【資料 1】</p> <p>②令和 2 年度決算報告について【資料 2】</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①令和 3 年度補正予算第 1 号 (案) について【資料 3】</p> <p>②地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画 (案) について【資料 4】</p> <p>(3) その他</p> <p>①ラストワンマイルモビリティ実証実験について【資料 5】</p> <p>②次回協議会の日程について</p> <p>③その他</p>		

	<p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会 事務局より開会の宣言があった。</p> <p>2. 会長あいさつ 河井会長より開会のあいさつがあった。</p> <p>3. 副会長選出 本協議会規約第4条第2項により、大庭委員が副会長に選出された。</p> <p>4. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として大村委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバスの利用状況について 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>②令和2年度決算報告について 資料2に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項</p> <p>①令和3年度補正予算第1号(案)について 資料3に基づき、事務局から提案があり、承認した。</p> <p>②地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画(案)について 資料4に基づき、事務局から提案があり、承認した。</p> <p>(3) その他</p> <p>①ラストワンマイルモビリティ実証実験について 資料5に基づき、事務局から説明があった。</p> <p>②次回協議会の日程について 後日通知することとした。</p> <p>③南山城村の村タクについて 南山城村が実施する村タクの制度拡充について、事務局から説明があった。</p> <p>④ミライロIDについて 障害者手帳アプリミライロIDについて、事務局から説明があった。</p> <p>⑤JR西日本による秋のダイヤ改正について JR西日本による秋のダイヤ改正について、兒嶋委員より説明があった。</p> <p>5. 閉会</p>
<p>会議経過要旨 ◎議長 ○委員 →事務局</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事 (1) 報告事項</p>

①木津川市コミュニティバスの利用状況・収支状況について

【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用実績

【主な意見・質疑等】

◎：資料1は令和2年度の振り返りの資料であると思われるが、今年度の速報値に関しても、資料として添付すると現状の把握もしやすいと思われる。

→：直近の数値はまだつかめ切れていない。次年度以降は、速報値の資料も添付するようにする。

○：個々の地域コミュニティにもっと着目して施策を行う必要がある。南加茂台地区でいうと、高齢化が進み、あの坂道を上り下りするのは難しくなっていく。新規路線開拓などのもっと抜本的な改革が必要で、この協議会で話し合うべきではないか。

→：新型コロナウイルス感染症により、公共交通全体が厳しい状況となっている。この状況下で地域住民だけの利用では足りず観光方面での利用者を取り込んでいくには、地域住民と協働していかないといけないと感じている。地域住民とのワークショップ等を交えて地域コミュニティとも密接に関わっていきたいので、協力をお願いする。

◎新型コロナウイルス感染症による減少だけでなく、地域性での減少の要因も細かに研究する必要がある。公共交通は地域コミュニティと密接に関係があるため、地域との関わりは重要である。

○木津川市だけで完結するのではなく、他市町村の事例を調査研究し、いいものは導入していく広い視点が必要である。人口増加しているという強みを活かしてほしい。

◎広域的な視点で木津川市公共交通を考える必要がある。皆様の知恵を拝借して、協議をしていきたい。

②令和2年度決算報告について

【配布資料】資料2 歳入歳出決算について

→意見なし

(2)協議事項

①令和3年度補正予算第1号(案)について

【配布資料】資料3 令和3年度補正予算第1号(案)について

→意見なし

②地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画(案)について

【配布資料】資料4 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業 生活交通確保維持改善計画(案)について

補助要件に適合しているため、コミュニティバスにおいても申請を行うものである。

→意見なし

### (3) その他

#### ①ラストワンマイルモビリティ実証実験について

NTT 西日本が精華西木津地区にて実施する、ラストワンマイルモビリティ実証実験について、事務局から説明があった。

○タクシー事業者に事前に説明がなかった。実証実験をするということは今後導入をされるということか。また100円で実証実験をした後、タクシー事業者が影響を受けることについてはどう考えているのか。

→実証実験地域にもこれから説明していく段階。NTT 西日本についても、関係機関に順次協議していくと聞いていたが、タクシー事業者に説明が遅れ大変申し訳ない。NTT 西日本にも伝えておく。最終的には本事業が持続可能となれば事業化することとなる。料金については、実証実験は100円で行い、持続不可能なら金額は見直しとなる。

◎最終的に事業化する可能性があり、市公共交通を担う可能性があるなら、本協議会での説明と協議が必要である。

○今後情報提供はしっかりとしてほしい。

→承知した。説明が遅くなり大変申し訳ない。NTT 西日本には、協議開始時より市既存公共交通に影響を与えないようにとは伝えている。

○南加茂台地区は、バス停から自宅等は坂道が多いため、本事業が導入されると効果があると思うがどうか。

→ひとまず学研地区で実証実験を行う。学研地区以外でもニーズがある地域は出てくると思うので、実証実験結果を踏まえて検討していきたい。

○この実証実験は無人化まで検討されるものか。

→現時点では見据えていない。

○事業者が学研都市交通(株)になぜ決まったか。

→昨年度実施された実証実験の継続により決定された。地域の公共交通も踏まえて持続可能な事業としての実証実験となる。運賃についても、実際に運行に必要な単価を算出して実証地域にはそれを説明するようにNTT 西日本には伝えているので、タクシー事業の経営に影響を及ぼさないようにしている。いただいた意見についてはNTT 西日本に伝える。

○本事業は京都府文化学術研究都市推進課が行っている。本事業は、バス・タクシー連携のもとでシームレスで利用できることを目的としているため、地域の交通機関を邪魔するものでない。そもそも、地域公共交通がないと成り立たない事業である。府担当課には本協議会で出た意見については伝えておく。

○昨年度の実証実験の成果はどのようなものか。本実証実験は、目的地に着いた後のサービスも重要となるが、市商工会とは協議しているのか。

→明確な数字はNTT 西日本よりいただけてないが、地域で一定の需要はあったため今年度も引き続き実証実験となっているとのこと。現段階では、市商工会へ説明等は行っておらず、まずは地元への説明を最優先として、その後に協議を行う。

#### ②次回協議会の日程について

10月中を目途に事務局で調整し、改めて通知させていただく。

	<p><b>③その他</b></p> <p>1. 南山城村の村タクについて  ○福祉の観点での事業であればここで協議するものではない。自家用有償運送は必要な地域と認識している。月の利用者が3人程度であれば、1台3000円の料金が妥当かどうかの検討はしてよいのではないかと。  →今回南山城村から話があったためこの場で情報提供させていただいた。意見については、南山城村へ伝えさせていただく。</p> <p>2. ミライロIDについて  ○タクシー協会も加入済み。  →市コミュニティバスでミライロIDを導入するよう手続きを進める。</p> <p>3. JR西日本による秋のダイヤ改正（JR西日本兒嶋委員より説明）  ○現在加茂駅は1時間に2本あるが、時間帯によって1本になるということか。  ○すべての時間が1時間に1本になるわけではなく、昼間の時間帯の利用が少ない時間帯のみ1本となる。  ◎サービス低下するにしても利便性を確保するためにダイヤを工夫していただきたい。また、利用促進についても積極的に進めていただきたい。  ○JR西日本としてもこのままでいいと思っていない。会社として観光部門があるので、それを活用して利用促進に活かしていきたいし、協力はぜひともしていきたい。</p> <p>4. その他  ○ワクチン接種について、接種会場までのバス輸送などを検討してはどうか。それが今後のバス利用の促進につながるのではないかと。  →ワクチン接種は別部署で検討しているので詳細不明なところはあるが、複数の接種会場にて、よりスピーディーに接種をすすめていく事を重視している。  利用促進については、JRの減便がある中、公共交通全体の利用促進を進めていく必要があると考えている。第2次木津川市地域公共交通網形成計画では昨年度実施する予定であった、1日無料デーが新型コロナウイルス感染症による影響で実施できていない。実施にあたっては、より利用促進に繋がる日の設定と、市内公共交通機関全てでの実施の検討が重要であると感じている。実施にあたっては、公共交通機関事業者の方のご協力をぜひともお願いしたい。</p> <p><b>3. 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">以上。</p>
<p><b>その他 特記事項</b></p>	<p>なし</p>